

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	41400	休日診療事業費		担当課	市民保健部 医療課		内線	2801
予算	会計	1	一般会計	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして		
	款	4	衛生費	分野	5	健康・保健・医療		
	項	1	保健衛生費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する		
	目	4	地域医療対策費	施策	2	救急医療体制の整備		
実施計画事業	休日診療事業							
市長の約束								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・市民が休日等に急病になったときに受診できる医療体制を整え、市民全体が安心して暮らせるようにする		
概要	事業の実施手法(手段)	・1次救急医療確保の一環として、休日(日・祝・年末年始)の医科及び歯科診療所を開設		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 延べ診療日数		日	目標値	69	68	69	70
			実績値	69	68	69	-
算出根拠等	診療実日数/年		達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
②			目標値				
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 延べ利用患者数(医科)		人	目標値				
			実績値	1,584	1,408	1,500	-
算出根拠等	延べ患者数/年		達成率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
② 延べ利用患者数(歯科)		人	目標値				
			実績値	109	138	100	-
算出根拠等	延べ患者数/年		達成率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)			(A) 17,266	15,255	16,993	16,000
	受益者負担(使用料・負担金等)			14,715	12,608	13,507	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源			2,551	2,647	3,486	
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	183	163	182	171	
			受益者	4月1日現在	(B)	94,235	93,822
②							
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・休日診療所の開設により、市民がいつでも安心して医療が受けられる環境が整備される
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・休日等の救急医療体制の充実については、市民のニーズも高い
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	・休日等の急病に際し、市民全体の身近な救急医療の場として極めて有効な施設となっている
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	・医科では小児患者の利用が多いものの、歯科診療の利用度合いが低い
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	・休日診療所のPRや重症度合いに応じた受診方法など効果的な広報活動を行い、適正な受診啓発を図る
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	A	・休日診療所の開設により、救命救急センター(高山赤十字病院)を利用する軽症患者が減ることで勤務医の疲弊軽減につながり、本来の患者の重症度合いに応じた救急医療機関の役割が果たせる
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	・医師については医師会会員(開業医等)の輪番制で行っており今後も継続
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	・市内の救急医療確保という点において、受益者1人当たりのコストは適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・適正である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		19.0 / 20.0	100点換算 → 95 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・休日等の救急医療の確保は、市民がいつでも安心して医療を受けられる環境整備のため重要であり、今後も休日診療所を継続する				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・利用状況の把握・検証を行う必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	16,993	21,674	4,681	16,583	16,583
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	13,507	13,581	74	13,049	13,049
一般財源	3,486	8,093	4,607	3,534	3,534

予算要求の概要	休日診療所の管理運営 医療用機器の整備
要求額増減理由	医薬材料費の増 医療用機器の整備に伴う増
事業実施の課題	医療スタッフの確保

財務部査定の考え方	積算内容を精査し前年並み事業費とする
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	41410	地域医療対策事業費		担当課	市民保健部 医療課		内線	2801
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	
	款	4	衛生費		分野	5	健康・保健・医療	
	項	1	保健衛生費		基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	
	目	4	地域医療対策費		施策	1	地域医療体制の充実	2
実施計画事業	医師確保等支援事業 救急医療体制整備事業 医療施設整備事業							
市長の約束	医療・福祉を充実させます ・地域医療を充実させるため、医療機関への支援額を増額します ・地域から医師を志す若者を支援するため、医師等養成奨学金制度を新設します 将来を担う子どもを守り育てます ・産婦人科医の招へいも含め、周産期医療の拡充を行います							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市民が安心して医療を受けられるよう地域全体における医療体制及び救急医療体制の確保と充実を図り、医療スタッフの疲弊を解消する		
概要	事業の実施手法(手段)	市内中核病院への支援 <ul style="list-style-type: none"> 医師及び臨床研修医等の確保に対する支援 高度医療機器整備に対する助成 他 救急医療体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> 救急医療施設(救命救急センター等)の運営費の助成 小児夜間初期救急診療運営費の助成 24時間健康医療相談の実施や救急早見表の配布 		
	前回の評価からの改善・改革のポイント	・市内中核病院への支援の拡充(周産期医療施設整備費補助金の新設)		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	市内救急医療機関数(2次、3次)	箇所	目標値	2	2	2	2
算出根拠等	高山赤十字、久美愛厚生病院		実績値	2	2	2	-	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	-	-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②			目標値				
算出根拠等			実績値				-	-
	算出根拠等		達成率(%)				-	-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	市内中核病院の医師数	人	目標値	124	124	124	124
算出根拠等	4月1日現在		実績値	93	97	93	-	
	算出根拠等		達成率(%)	75	78	75	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②	救急医療機関(2次、3次)利用者数	人	目標値				
算出根拠等			実績値	21,325	19,846	19,500	-	
	算出根拠等		達成率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21	H22	H23	H24		
	歳出(千円)		決算額	決算額	予算額	実施計画額		
			200,195	194,206	220,949	211,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)		21,734	22,937	22,733			
コスト面	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		30,346	4,100				
	一般財源		148,115	167,169	198,216			
コスト面	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画		
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,124	2,070	2,368	2,262	
		受益者	4月1日現在	(B)	94,235	93,822	93,312	93,300
		算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	・市民が安心して医療を受けられる環境整備には医師確保と救急医療体制を充実させることが不可欠なことから地域医療対策の政策的な重要性は高い
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	・救急医療は市民の生命を守るために必要で、市民のニーズも高い
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	・支援事業を継続することで市民全体が安心して医療を受けられる環境が維持できる
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	・中核病院の小児科や産科医など特定診療科の医師不足が依然続いている ・病院勤務医の疲弊をなくすため、電話医療相談や小児夜間初期救急診療室を設置するなど、救急医療機関の患者数は減少傾向にある
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	A	・救急医療やへき地医療など不採算性の高い医療サービスを提供している中核病院を支援することで地域医療体制の確保が図られる ・急病時に役立つ救急早見表の全戸配布を行い、適切な対処方法や受診の仕方など周知を図る
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	・中核病院の産婦人科外来の全面改修の支援を行うなど周産期医療の拡充を図る ・地元出身医学生等を対象にしたサマーセミナーを開催し、将来的な医師等の招へいにつなげる
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	・中核病院への補助金については成果等を検証する中で、更なる効果的な支援について検討していく
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	・補助金交付等により救急医療体制の充実を図っており、減額は事業の縮小に関わることから、受益者1件当たりのコストは適正であり、今後も継続していく必要がある
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	・投入コストに見合った成果が上がっている
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0	100点換算	85 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ 完了
	・中核となる医療機関の医師等医療従事者の確保支援等について引き続き事業を実施する ・市民全体の医療環境の充実につながる中核病院の医療機器等の支援額の増額を検討する ・救急医療施設の運営支援については、市民が安心して暮らせるための基本であり、引き続き事業を実施する ・医学生奨学金制度の導入については、県等の現行制度の活用も含め検討する ・地元出身医学生等を対象にしたセミナーや中高生対象の講演会を開催するなど将来の医療従事者の養成事業を実施する				

総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ 完了
	・平成22年度事業評価において、医師確保、医療スタッフの疲弊解消のための更なる効果的な支援についての検討、市民に対し、24時間電話医療相談窓口の周知やコンビニ受診防止に向けた啓発が必要であるとの指摘を行っており、引き続きこうした取組みを行っていく必要がある。 ・医療機関への支援については、これまでの支援による効果の検証と医療機関の状況を踏まえた見直しを行う必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	220,949	213,389	△ 7,560	402,617	402,617
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	22,733	22,187	△ 546	22,191	22,191
一般財源	198,216	191,202	△ 7,014	380,426	380,426

予算要求の概要	市内中核病院の医師確保のための経費及び救急医療体制整備への助成
要求額増減理由	周産期医療施設整備費補助金の減
事業実施の課題	恒常的な地域医療スタッフの確保

財務部査定の考え方	積算内容を精査 久美愛厚生病院の建設に対する助成による増
市長査定の考え方	財務部査定のとおり